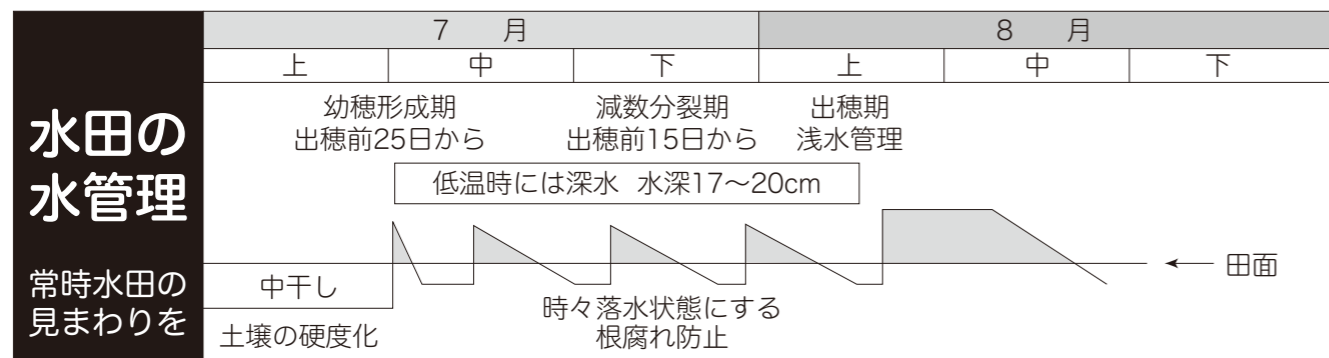


## 幼穂形成期～減数分裂期に入ります。(草刈作業は7月下旬までに!!)

管内の水稻生育状況は、気温が平年より高く推移していることから、平年に比べて4～5日早まっており、ほとんどの水田圃場は必要な莖数を確保しております。中干し終了後、急激な還元状態とならないよう走水程度とし根痛みを防ぐようにしてください。7月中旬より低温に弱い「幼穂形成期」や下旬には「減数分裂期」に入るので、低温が予想される場合は、出来る限りの深水管理を実施してください。斑点米カメムシの防除として、水田畔畔の草刈りは出穂10日前までに終えるよう努めてください。

## ◎水田の水管理と生育ステージについて



## ◎倒伏軽減剤の散布時期です!!

転作跡地や復元田で、稲の生育旺盛な圃場では倒伏する場合がありますので、倒伏軽減剤の散布を検討して下さい。

主な倒伏軽減剤	使用時期	10アール当り	使用方法
ロミカ粒剤	出穂25日～10日前まで (節間短縮による倒伏軽減)	2～3kg	湛水散布
スマレクト粒剤	出穂7日～20日前 (節間短縮による倒伏軽減)	2～3kg	
ビビフル粉剤DL	出穂10日～5日前 (節間短縮による倒伏軽減)	3～4kg	散布
ビビフルフロアブル	出穂10日～2日前 (節間短縮による倒伏軽減)	75～100ml/10a (散布数量50～150ℓ)	茎葉散布

※使用量、使用時期を厳守し多量散布、重複散布に気をつけて下さい。

※「環境保全米」を栽培している生産者は、散布できませんのでご注意願います。

## ◎穂いもち病の防除について

稲の葉色が濃い水田や毎年いもち病の発生が見られる水田は、必ず薬剤散布して下さい。

《穂いもち病の防除薬剤》 ※いずれか1剤を散布する。(出穂10日前頃)

- ・コラトップ粒剤 5 3～4kg/10a
- ・コラトップ1キロ粒剤 12 1～1.5kg/10a
- ・コラトップジャンボ 小包装10～13個/10a (500～650g)

**注意**

※環境保全米栽培は、コラトップ剤を使用できませんのでご注意下さい。

## ◎稲こうじ病・紋枯れ病等は出穂前の日数を確認して散布しましょう!!

防除農薬	適用病害	使用基準	10a当り使用量	使用時期
ラバリダボルドー粉剤DL	紋枯病・いもち病・稲こうじ病	出穂10日前まで	3～4kg	〈散布目安〉 7月20日頃 まで
モンガリット粒剤	紋枯病 稲こうじ病	収穫45日前まで	3～4kg	
撒粉ボルドー粉剤DL	稲こうじ病	出穂10日前まで	3～4kg	
モンカットファイン粉剤20DL	紋枯病	収穫14日前まで	3～4kg	8月末頃まで

※「環境保全米」を栽培している生産者は、撒粉ボルドー粉剤DLのみ使用できます。

## ◎穂肥について

〈穂肥窒素の施用時期と生産要因への影響〉

◎効果高い ○効果あり ×悪影響あり

生産要因への影響	穂数の増加	1穂穎花数の増加	1穂穎花数の減少防止	登熟の良化	下位節間の伸長と倒伏
施肥時期					
幼穂形成期	○	◎	○		×
減数分裂期		○	◎	◎	

〈幼穂形成期及び減数分裂期の葉色の目安及び追肥の目安〉

品種名	幼穂形成期 (7月15日頃)	施用量 10a当たり 窒素成分	減数分裂期 (7月25日頃)	施用量 10a当たり 窒素成分
	葉色 葉緑素計値		葉色 葉緑素計値	
ひとめぼれ	37～39未満	1.0kg	N35～37未満	1.0kg
ササニシキ、コシヒカリ	—	—	N32～34未満	1.0～1.5kg
まなむすめ	35～37未満	2.0kg	—	—

## ◎葉色の淡い圃場、ムラになった圃場では穂肥の施用を!!

元肥に施肥した肥料の肥効が低下してきている圃場が見受けられます。淡い圃場、ムラになった圃場は追肥を検討して下さい。

### ＜追肥の効果＞

幼穂形成期の追肥は……穂の粒数を確保するために効果があります。『7月上～中旬頃』

- ・通常栽培の場合は、出穂前20日～25日前頃に窒素成分で「1kg」の追肥が目安です。

減数分裂期の追肥は……穂の粒数減少防止、千粒重の増加に効果があります。『7月中～下旬頃』

- ・通常栽培の場合は、出穂前10日～15日前頃が目安です。  
ひとめぼれ→窒素成分で「1kg」 ササニシキ→窒素成分で「1～1.5kg」

肥料は……速効性の効果がある『NK化成C68号』等を使用する。現物量6kg＝化学窒素成分約1kg。

※環境保全米栽培は、基肥の化学窒素施用量を必ず確認してから追肥を実施すること。

〈例〉基肥 まーくん有機209

40kg＝化学窒素施用量が「2.4kg」となりますので、追肥の化学窒素量は「1kg」以下であれば施用できます。(NK化成C68号であれば現物量5kg以下)

※JAでは葉色診断計を準備しておりますので、希望があれば圃場で診断を行いますのでご連絡下さい。

営農企画課 TEL. 022-384-2392

# <斑点米カメムシの発生が多発傾向です。草刈は7月下旬までに完了させましょう!!>

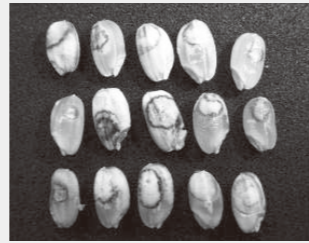
斑点米カメムシの被害は年々増加傾向にありますので、昨年被害のあった圃場周辺は特に草刈作業を出穂10日前までに完了するようにして下さい。

また、カメムシ防除については、穂揃期頃（8月中旬）までに散布するようにしましょう。

斑点米

### カメムシに加害された玄米（斑点米）

斑点米は、カメムシがイネの出穂後に穂を吸汁することにより発生します。斑点はカメムシの吸汁部位から雑菌が侵入することにより変色すると考えられています。斑点米が入ると等級格下げとなってしまいます。



## カメムシ類の主な生息場所は？→イネ科植物を好み、その周辺に生息し子実をエサにしています。

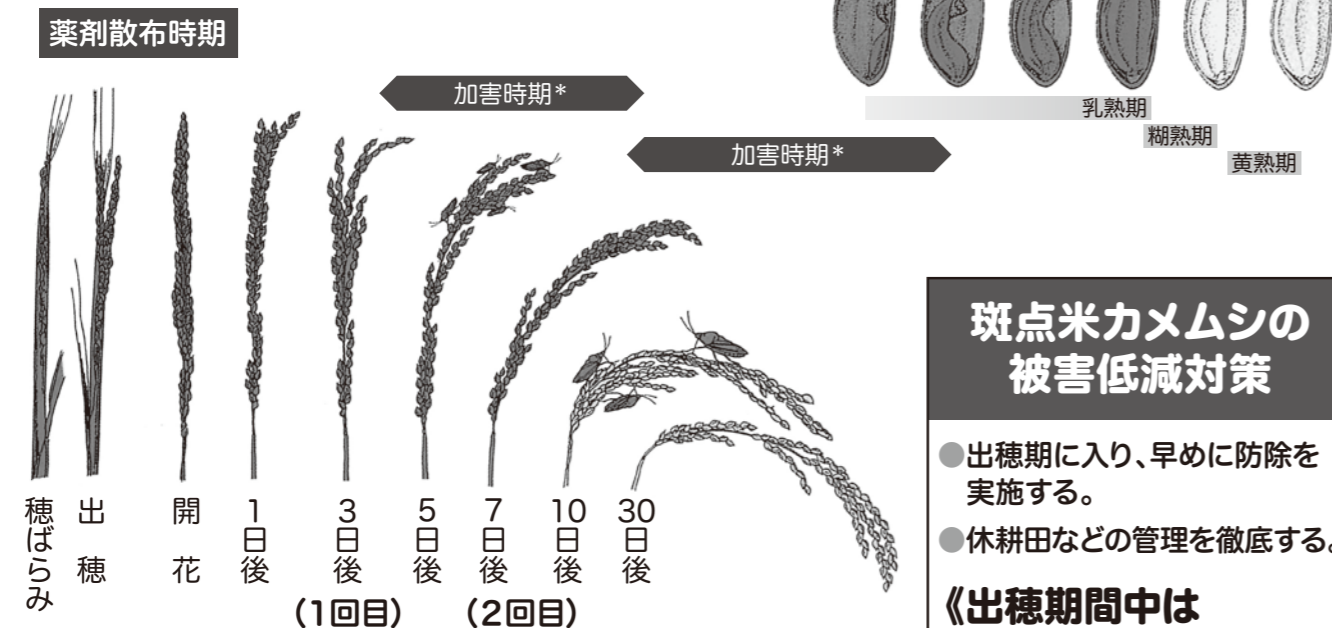
- 水田周辺の畦畔、休耕田等の「ヒエ・ホタルイ」や「イタリアンライグラス」等を好む。
- 道路の載り面や河川の堤防等

### <主な防除薬剤>

- キラップ粒剤、キラップ粉剤DL、キラップフロアブル（環境保全米栽培は、キラップ剤1回散布）
- スタークル1キロ粒剤、ダントツ粒剤、ダントツH粉剤 等

※カメムシ防除剤については、名取市・岩沼市各病害虫防除協議会より助成金が交付されます。（各薬剤基準価格の10%以内）

## ◎斑点米カメムシ類の防除時期（目安）



※ 薬剤による防除は、穂揃期とその7~10日後に畦畔を含めて2回実施する。

### 斑点米カメムシの被害低減対策

- 出穂期に入り、早めに防除を実施する。
- 休耕田などの管理を徹底する。

《出穂期間中は草刈作業厳禁》

## 《平成26年産『環境保全米』展示圃場施肥体系・生育状況》

調査日 平成26年7月9日

	圃場所在地	面積	品種	基肥（10a当たりの肥料成分）					田植日	草丈（cm）		㎡当たり茎数				
				施用量	N	化学成分うち	P	K		本年	25年参考	本年	25年参考			
閑上（除塩）	牛野 字松浦	35 a	ひよめぼれ	高度化成555	40 kg	2.0	2.0	10.0	10.0	5月11日	65.7	—	515.5	—		
下増田	杉ヶ袋 字高原	30 a	ひよめぼれ	特別栽培米基肥追肥兼用肥料	40 kg	4.0	2.0	1.6	4.0	5月10日	58.3	67.8	454.2	564.3		
館腰	植松字北	60 a	ひよめぼれ	まーくん有機209	50 kg	6.0	3.0	5.0	4.5	5月14日	61.2	60.3	530.9	456.6		
愛島	北目 字田小屋	100 a	ひよめぼれ	一発有機209	50 kg	6.9	3.0	5.0	4.5	5月25日	58.4	—	533.4	—		
増田	手倉田 字堰根	16 a	つや姫	苗箱まかせNK301(60日) 苗箱まかせNK301(100日)	各5.4 kg	3.2	3.2	0	1.1	5月14日	59.7	—	319.3	—		
玉浦（除塩）	寺島 字瀬崎	86 a	ひよめぼれ	らくだ君有機一発499	45 kg	6.3	3.2	4.1	4.1	5月15日	61.9	—	507.5	—		
幼穂形成期に入りました。出穂期までは重要な時期となりますので、万全の管理に努めてください。											当管内環境保全米展示圃平均		60.9	63.3	476.8	485.0

## 「平成26年産JA米」栽培履歴記録簿の提出用を配布致しました!!

8月4日から確認会を実施致します。「生産者控え用」の記録簿内容を自己点検した上で、提出用の栽培履歴記録簿にボールペンで清書して下さい。不足する場合は必要に応じてコピーをして対応するようにお願いします。

尚、白紙のまま持参されても確認できませんので、必ず記入した記録簿を持参し確認を受けて下さい。

※同じ品種でも栽培方法が異なる場合は、栽培履歴記録簿をコピーして2枚記入となります。

<例>・水稲直播栽培など最初から圃場ごとに栽培体系が異なる場合。  
・囲い毎に栽培方法が異なる場合。

※作業を委託している場合については、受託者に記入して頂いて下さい。

・受託者の名前を記入する欄に必ず書いて下さい。

※JA以外から種もみ又は水稲苗を購入している場合は、購入した証明書類を添付して下さい。

<注意事項>

・環境保全米栽培として計画していた生産者の方で、栽培基準に適合できない圃場がある場合は、JA米として出荷するようになりますので、栽培履歴記録簿を別に記入するようにお願いします。

※環境保全米の栽培記録簿は7月中旬に配布致します。